

事業主様・経理担当者様 向けのご案内

食の福利厚生



— 食事補助制度の活用 —

食事補助制度とは企業が従業員の食事代の一部を負担する制度です。

メリット①

従業員の健康が
守られます

メリット②

従業員の
食費の節約に
繋がります

メリット③

福利厚生として
経費計上が
できます

« 食事補助が福利厚生費と認められる要件 »

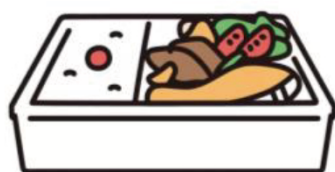
(前提条件)

- ・ 食事補助が全従業員が対象であること
- ・ 社会通念上の常識の範囲内の金額であること

これに加え、下記の2つの要件を満たしていれば、非課税にすることができます。

- (1) 食事価額の50%以上を従業員が負担していること
- (2) 1ヶ月あたりの会社負担が3,500円（税別）以下であること

【 運用例 】



[1ヶ月分のお弁当代]

550円×22日 = 12,100円 (税込)

[1ヶ月分の会社負担額] ※150円/日

(12,100 - 8,800) ÷ 1.1 = 3,000円



従業員満足度

UP

- 外出の必要なし！
- 休憩時間が有効に使える！
- 栄養バランスのとれた食事がとれる！